

医学部および石見高等看護学院の卒業者・合格者と市長との意見交換会

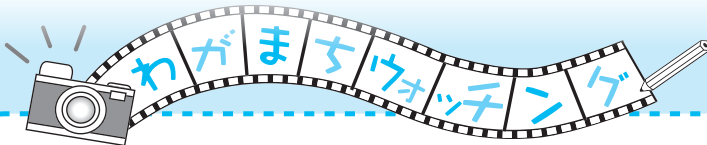
3月8日(休)に、益田市出身で平成29年度に医学部を卒業した学生1名と県立石見高等看護学院を卒業した学生3名が、市長と意見交換を行いました。

山口大学医学部を卒業した齋藤さんは、医師国家試験に合格し、4月からは初期臨床研修医として県外の病院に勤務しています。また、県立石見高等看護学院を卒業した友重さん、宮川さん、三家本さんは3人も看護師国家試験に合格し、4月から看護師として市内の病院に勤務しています。市長は新社会人として羽ばたく皆さんに、「4月から新社会人となりますが、将来、皆さんには益田市の地域医療を支える存在であって欲しいです。今後も益田市はしっかりと応援していきます！」と激励の言葉を送りました。

同日、益田市から島根大学医学部の地域枠推薦入試に合格した3名と、県立石見高等看護学院に地域推薦入試で合格した5名が市長と意見交換を行いました。

島根大学医学部地域枠推薦入試制度は平成18年度から、県立石見高等看護学院地域推薦入試制度は平成20年度から始まり、益田市からの推薦で入学した学生は、平成30年4月現在で、島根大学医学部には在学生在が10名と卒業生が8名、県立石見高等看護学院には在学生在が15名、卒業生が37名を数え、卒業後は地元の病院に勤務するなど、地域医療に貢献しています。

今年度、島根大学医学部に進学する岡崎さん、酒井さん、角さん、県立石見高等看護学院に進学する大久保さん、金山さん、澄川さん、松井さん、齋藤さんの8名は、初めは緊張した様子でしたが、自己紹介や市長との懇談を通して次第に和やかな雰囲気になりました。市長は学生の皆さんに「身体にはくれぐれも気を付けて、勉強も私生活においても悔いのないよう頑張ってください！」と激励の言葉を送りました。



わがまちWatching

3/13



英語に親しむきっかけに…

書籍を寄贈いただきました

国際ソロプチミスト益田様から、市立図書館へ幼児・児童用英語書籍10冊を寄贈いただきました。書籍の寄贈は平成26年度から現在まで続いており、平成29年度分を含め合計87冊になりました。小川律子会長からは、「幼児・児童年齢から英語に興味を持ち、親しみながら、今後の学習に役立てていただければ幸いです。」という言葉を送りました。

さよなら西南中学校

平成29年度末をもって閉校となる西南中学校の閉校式が開催されました。当日は校札返納のほか、生徒による和太鼓演奏や記念碑除幕式が行われました。集まった来賓・地元住民・西南中学校生徒らは、昭和34年に創設されてから59年間、二条・美濃地区の中学生を見守り続けた学び舎との別れを惜しみました。

3/18



59年の歴史に幕を閉じました